

議会だより

9月定例会からの完全実施に向けて



紙から電子文書化
議会資料を
タブレットに挑戦中

CONTENTS

令和4年 市議会の活動状況 ……2	令和4年度 政務活動報告 ……7
常任委員会はココに注目! ……4	令和5年6月定例会 一般質問(7人) … 10
	入間市議会姉妹都市交流 …… 14



1月、12月
令和4年

市議会の活動状況

議会開催状況

会議名	会期	会期日数	本会議日数
第1回臨時会	1月21日	1	1
第2回定例会	3月1日～3月18日	18	6
第3回臨時会	4月13日	1	1
第4回臨時会	4月27日～4月28日	2	2
第5回定例会	6月10日～6月28日	19	5
第6回定例会	9月9日～9月28日	20	5
第7回臨時会	11月11日	1	1
第8回定例会	12月2日～12月21日	20	5
合計		82	26

昨年比 会議0回、会期日数▲3日、本会議日数▲4日

県内市議会 YouTube 県内のチャンネル登録数 順位
(20市中8市が開設)

- 1位 上越市 (325件)
- 2位 佐渡市 (308件)
- 3位 長岡市 (151件)



県内市議会 Facebook 県内のフォロワー数 順位
(20市中5市が開設)

- 1位 佐渡市 (660件)
- 2位 上越市 (499件)
- 3位 妙高市 (177件)



※7月1日現在

議案議決状況

提出区分	議案種別	提出件数	可決同意承認報告	修正	否決	継続審査	審議未了	撤回
市長提出	自治法第96号に基づき 条例の制定・改廃 (第1号)	26	26					
	予算を定めること (第2号)	55	55					
	決算の承認 (第3号)	14	14					
	4～14号の議案	8	8					
	その他	27	26					1
	専決処分	5	5					
	合計	135	134					1
議員提出	条例の制定・改廃 (自治法第112条第1項等)	2	1		1			
	規則 (自治法第112条第1項等)							
	意見書 (自治法第99条)	6	2		4			
	決議 (佐渡市会議規則第14条)	1	1					
	その他	23	23					
	合計	32	27		5			
種別		付議案件	採択	一部採択	趣旨採択	不採択	審議未了 (保留)	継続審査
請願		3	2			1		
陳情		13	2			9	1	1

一般質問・代表質問・緊急質問の状況

区分	第1回臨時会	第2回定例会	第3回臨時会	第4回臨時会	第5回定例会	第6回定例会	第7回臨時会	第8回定例会	計
一般質問		9			9	10		12	41
代表質問		3							3
緊急質問									

昨年比 一般質問▲13、代表質問+1、緊急質問0

3月定例会

議会改革等特別委員会、最終報告

議会基本条例制定に向けて!

4月臨時会

新正副議長が就任、各委員の選任

新体制スタート!



4月臨時会 正副議長選挙（投票）

4月臨時会

議会基本条例検討特別委員会、
人口減少対策調査特別委員会

新たに設置

6月定例会

一般質問者等の一発撮り動画
「THE FIRST TAKE」を配信

新たなコンテンツ

6月23日

議会基本条例制定についての研修会

江藤俊昭氏講演



6月23日 研修会

7月14日

姉妹都市入間市議会と交流会

3年振りに復活

9月定例会

ノートパソコン等の使用開始

ペーパーレスに向けて

9月7日

公務欠席に関わる

市議会見解を表明

議会品位に関わる問題

12月定例会

産業建設常任委員会

所管事務調査報告 小木一直江津航路

船舶導入に伴う行政支援について

定例会の一般質問

平均人数 10人（昨年、13.5人）

時間順位

1位 1時間 57分

2位 1時間 53分

⋮

最短 45分



平均所要時間

1時間 20分

*一般質問の質問議員の持ち時間は45分
（答弁時間除く）です。

委員会開催状況

	区分	開催日数		付託案件数	
		会期中	閉会中	議案	請願等
常任委員会	総務文教	24	9	45	5
	市民厚生	23	7	44	8
	産業建設	24	11	21	3
	議会運営委員会	19	13		
特別委員会	議会広報	5	8		
	議会改革等	1	2		
	議会基本条例検討	5	11		
	人口減少対策調査	2	5		
	合計	103	66	110	16



常任委員会トピックス

第3回(6月)定例会
6月9日~23日

条例案8件、予算案3件、その他の議案28件を可決

総務 文教 常任委員会

未だ市民生活に影響を及ぼす 大雪災害の爪痕

両津と赤泊地区に新設する倒竹等の集積所及び、臨時集積所の倒竹等の処分に関わる追加予算6,271万円が提案された。

審査の中で、真野、羽茂、畑野地区の集積所の対応が未だ手つかずだが、9月から10月頃には処分が終わり、肥料、ペレット、竹炭、防草剤として活用する予定であるとの説明があった。

今後も気候変動による大規模災害が予想される中、今回の教訓を十分に活かし、庁内の様々な課や外部企業・団体との連携を図りながら防災体制を強化すべきであると意見をつけた。



竹の集積所(勤労青少年ホーム)

どうなっていくのか!? 週末の地域クラブ活動

部活動地域移行プランでは佐渡市教育委員会が主体となり、今後、推進協議会を立ち上げ、6月末までには初回の会議を予定しているとの説明があった。現在は島内に部活動の外部指導者が17名いるが、9月から来年



部活動の様子(相川中学校)

3月までの間の休日においては月1回程度、計90名分の指導員謝礼金、ボールやシャトルなどの用具類の消耗品費等が計上された。運動部ではスポーツ協会加盟団体、文化部では吹奏楽やリコーダーの民間クラブ等に外部指導をお願いする予定である。

部活動の地域移行については、制度の主旨を十分に理解し、生徒、保護者、指導者の意向を確認するとともに、他市の先行事例を参考に制度設計を行い、教職員の多忙化解消となるよう取り組むべきであると意見をつけた。

介護老人保健施設「すこやか両津」 インフラ整備事業は福祉の将来を見据えて

「両津病院」、「歌代の里」、「すこやか両津」の3施設は現在、空調、熱源（ボイラー）、電気、ナースコール等の機能は両津病院機械室で共通管理しており、令和6年9月に歌代の里、令和7年5月に両津病院の移転が予定されている。

両津病院移転後に、すこやか両津が単独で事業提供を継続するための設備を整備する必要から予算提案されたものである。

審査の観点として、事業費総額が5億7,905万円で予定されているが、将来の介護必要者数の減少が見込まれることから以下の意見を付した。

意見

今回の予算により、当施設の電源設備等が再整備されることとなる。老人保健施設としての将来や今後の福祉施設の需要動向を踏まえ、当予算が有効なものとなるよう取り組まれない。



左から歌代の里、すこやか両津、両津市民病院

地域密着型通所介護施設への変更で利用者負担増が心配

西三川複合総合施設（真野第2保育園・西三川デイサービスセンター）は平成19年に設置されたが、併設する真野第2保育園は、園児数の減少により令和6年3月末に閉園の予定である。

西三川デイサービスセンターは利用者の状況を踏まえ、通所介護から地域密着型通所介護施設として存続する。ただし、心配されることは地域密着型通所介護施設への変更により利用者負担が増加することである。市側は「運営推進協議会」の設置により開かれた施設になりサービスの向上が可能との回答であるが、利用者負担の圧縮は今後の課題である。



真野第2保育園・西三川デイサービスセンター



産業 建設

常任委員会

現地視察 災害現場

1. 農地農業用施設災害復旧費 610万円



新穂田野沢地内の現地視察

【概要】5月6日、7日の豪雨により、24時間雨量が80ミリを超える箇所があり、その影響により新穂田野沢地内において農地が被災した。

※現在は畔シートにより応急対応している。

◇被災規模・延長：15.0メートル
高さ：3.0メートル

2. 林業施設災害復旧費 1億6,500万円

【概要】5月6日、7日の豪雨により、両津大川地内の森林基幹道小佐渡2号線が被災した。

※バリケード等により通行止めになっている。

◇被災規模・延長：50.0メートル
高さ：20.0メートル



両津大川地内の現地視察

日 なたは かに 使 っ て い ます

令和4年度 政務活動費

佐渡市では、議会の会派や議員に対し、調査研究等に必要な経費に充当するよう、1人当たり月額1万円の政務活動費を交付しています。

下記の表はすべての支出額でなく、交付額以上使用した場合は議員の自己負担となります。また、費用の全額を政務活動費に充当することが適当でない場合は、按分により充当します。なお、精算の際には、全ての領収書の添付と残余金の返還を義務づけています。詳細はホームページで公開しています。



単位：円

新生クラブ	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	720,000	735,559	0
金田淳一(代表) 駒形信雄 佐藤 孝 上杉育子 広瀬大海 後藤勇典	◆調査研究費 410,916 円…視察費 ◆広報費 261,333 円…議会報告印刷費 他 ◆広聴費 63,310 円…市政報告会費		
政風会	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	480,000	477,096	2,904
室岡啓史(代表) 山本 卓 坂下善英 林 純一	◆調査研究費 176,242 円…視察費 ◆広報費 204,274 円…議会報告印刷費 他 ◆要請・陳情活動費 33,660 円…要請活動費 ◆会議費 35,860 円…意見交換会費 ◆資料作成費 27,060 円…資料印刷費 他		
政友会	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	240,000	40,800	199,200
稲辺茂樹(代表) 山本健二	◆資料購入費 40,800 円…新聞購読料		
日本共産党 市議団	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	240,000	402,225	0
中川直美(代表) 中村良夫	◆広報費 357,113 円…議会報告印刷費 他 ◆資料購入費 45,112 円…図書費		
公明党	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	120,000	33,000	87,000
山田伸之(代表)	◆資料購入費 33,000 円…新聞購読料		
リベラル佐渡	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	240,000	312,067	0
北 啓(代表) 平田和太龍	◆広報費 312,067 円…議会報告印刷費 他		

みらい佐渡	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	89,659	93,761	0
中川健二(代表) 荒井眞理	◆広報費 43,338 円…議会報告印刷費 他 ◆資料作成費 10,157 円…インク代 他 ◆資料購入費 40,266 円…新聞購読料 他		
無会派	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	120,000	355,031	0
佐藤 定	◆調査研究費 66,856 円…視察費 ◆広報費 229,339 円…議会報告印刷費 他 ◆資料購入費 58,836 円…新聞購読料 他		
無会派	交付額①	支出合計②	差額① - ②
	120,000	70,135	49,865
中川健二	◆広報費 45,495 円…議会報告印刷費 他 ◆資料購入費 24,640 円…新聞購読料 他		
無会派	交付額①	支出合計②	差額① - ②
	120,000	80,206	39,794
荒井眞理	◆調査研究費 5,300 円…団体会費 ◆研修費 6,290 円…研修費 ◆広報費 33,000 円…報告会チラシ作成費 他 ◆資料作成費 2,616 円…コピー用紙代 他 ◆資料購入費 33,000 円…新聞購読料 他		
無会派	交付額①	支出合計②	返還額① - ②
	120,000	381,423	0
近藤和義	◆研修費 11,740 円…研修費 ◆広報費 186,182 円…議会報告印刷費 他 ◆資料作成費 43,378 円…コピー代 他 ◆資料購入費 134,793 円…図書費 ◆事務所費 5,330 円…FAX インク代		

※年度途中に会派「みらい佐渡」が設立したため、中川(健)議員と荒井議員の差額合計分が、みらい佐渡の交付額となっています。

使途の順位

単位：円

	広報費	調査研究費	資料購入費	資料作成費	広聴費	会議費	要請・陳情活動費	研修費	事務所費	合計
金額	1,672,141	659,314	410,447	83,211	63,310	35,860	33,660	18,030	5,330	2,981,303
比率	56.1%	22.1%	13.8%	2.8%	2.1%	1.2%	1.1%	0.6%	0.2%	100%
順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	

議員報酬(月額) 議長 347,900 円、副議長 285,100 円、議員 268,200 円

議案等の審議結果一覧

◎は全会一致で可決、○は賛成多数で可決 ×は否決 △は継続審査

令和5年第3回(6月定例会)

番号	件名	審議結果
54	専決処分の承認を求めること（令和5年度佐渡市一般会計補正予算（第3号））	◎
55	佐渡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎
56	佐渡市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎
57	佐渡市公民館条例の一部を改正する条例の制定	◎
58	佐渡市火災予防条例の一部を改正する条例の制定	◎
59	佐渡市税条例の一部を改正する条例の制定	◎
60	佐渡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	◎
61	佐渡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	◎
62	佐渡市デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○
63	消防ポンプ自動車購入契約の締結	◎
64	令和5年度佐渡市一般会計補正予算（第4号）	◎
65	令和5年度佐渡市すこやか両津特別会計補正予算（第1号）	◎
66	除雪機械購入契約の締結	◎
67	人権擁護委員候補者の推薦	◎
68	人権擁護委員候補者の推薦	◎
69	人権擁護委員候補者の推薦	◎

番号	件名	審議結果
70	佐渡市農業委員会委員の任命	○
71	佐渡市農業委員会委員の任命	○
72	佐渡市農業委員会委員の任命	○
73	佐渡市農業委員会委員の任命	○
74	佐渡市農業委員会委員の任命	○
75	佐渡市農業委員会委員の任命	○
76	佐渡市農業委員会委員の任命	○
77	佐渡市農業委員会委員の任命	○
78	佐渡市農業委員会委員の任命	○
79	佐渡市農業委員会委員の任命	○
80	佐渡市農業委員会委員の任命	○
81	佐渡市農業委員会委員の任命	○
82	佐渡市農業委員会委員の任命	○

番号	件名	審議結果
83	佐渡市農業委員会委員の任命	○
84	佐渡市農業委員会委員の任命	○
85	佐渡市農業委員会委員の任命	○
86	佐渡市農業委員会委員の任命	○
87	佐渡市農業委員会委員の任命	○
88	佐渡市農業委員会委員の任命	○
89	佐渡市農業委員会委員の任命	○
90	佐渡市農業委員会委員の任命	○
91	佐渡市農業委員会委員の任命	○
92	佐渡市農業委員会委員の任命	○
93	佐渡市農業委員会委員の任命	○

番号	件名	審議結果
13(令和4年)	家族農業を守り、食料自給率の向上を目指す食料・農業政策への転換を求める意見書の提出についての陳情	×
2	「新潟の最賃は信越・北陸・関東13都県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」陳情	×
9	佐渡市立図書館ビジョン、新さわた図書館コンセプト案を生かし市民の意見を十分に取り入れたさわた図書館基本構想を求める陳情	△
10	佐渡市議会の委員会に置いて佐渡市答弁の違いの説明を求める陳情	×
11	「佐渡島の金山」の世界遺産登録推薦書等の公開を求める陳情	×

賛否等の内訳

賛否の分かれた議案(左ページの網掛け部)について、議員別に賛否等を公表

議案等の番号	議決結果	賛否の別		新生クラブ					政風会				政友会		日本共産党市議団		公明党	みらい佐渡		無会派		議長	
		賛成	反対	後藤 勇典	広瀬 大海	上杉 育子	駒形 信雄	金田 淳一	佐藤 孝	林 純一	室岡 啓史	坂下 善英	山本 卓	山本 健二	稲辺 茂樹	中村 良夫	中川 直美	山田 伸之	中川 健二	荒井 眞理	平田和太龍	佐藤 定	近藤 和義
議案62	可決	16	2	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	—
議案70	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案71	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案72	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案73	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案74	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案75	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案76	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案77	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案78	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案79	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案80	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案81	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案82	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案83	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案84	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案85	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案86	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案87	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案88	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案89	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案90	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案91	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案92	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
議案93	可決	11	0	○	欠	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	退	退	退	○	○	—
令和4陳情13	否決	7	11	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
陳情2	否決	6	12	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	—
陳情10	否決	0	18	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
陳情11	否決	2	16	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	—	

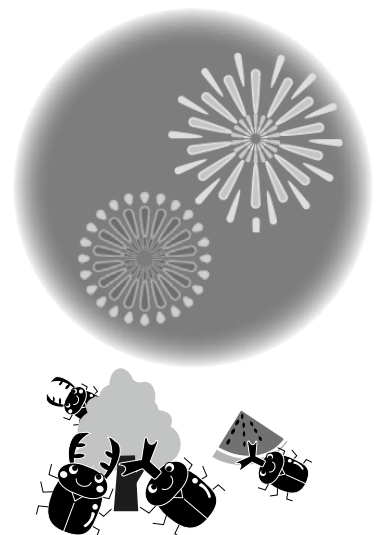
※ ○は賛成、●は反対、退は退席、欠は欠席。なお、議長は採決に加わらない。

議案70~93号 佐渡市農業委員会委員の任命の 表決について

平成28年の農業委員会法改正で農業委員の選出方法は、公職選挙法の選挙から市町村長が議会の同意を得て任命(制)する方法に変更されました。

佐渡市議会は、これまでの公職選挙法の流れで、議会同意は「無記名投票」で行ってきました。今定例会でも「無記名投票」で行う予定でしたが、本会議で「記名投票」を求める動議が提出され、議会運営委員会で協議を行ったところ「起立採決」に一致したため動議提出が取り下げられ、今回は「起立採決」で行われたものです。

* 「退」は退席の略ですが、採決時に議場にいなかった議員のことです。



問う！ 渡辺市政を

7名の議員が 一般質問



P.11 佐藤 定 (無会派)

1. 2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取組について
2. 「特定地域づくり事業協同組合」について
3. 帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成と市民への啓発について
4. 総務省の高度無線環境整備推進事業について

P.11 金田淳一 (新生クラブ)

1. 地域防災とコミュニティについて
2. 観光振興と佐渡航路について
3. 地域コミュニティと教育活動について

P.12 山本 卓 (政風会)

1. 地域活動支援員(集落支援員)・地域おこし協力隊を配置し、協働して、集落力、地域力の向上を図るべきではないか
2. 令和6年度に森林環境税が導入されるが、佐渡市の体制、取組について

P.12 中川健二 (みらい佐渡)

1. 人口減少問題を問う
2. 佐渡植物園の在り方を問う
3. 運転免許証自主返納制度を見直してはどうか
4. 世界遺産登録に向けて景観の整備は進んでいるか

P.13 中川直美 (日本共産党市議団)

1. 渡辺市政の自己評価及び次期市長選について
2. 佐渡観光交流機構(DMO)について
3. 第9期介護保険事業計画について
4. 財務部、秘書広報課等の組織の在り方について
5. 特別交付税を活用した航路活性化策について

P.13 中村良夫 (日本共産党市議団)

1. 公(市)営住宅の充実について
2. 子育て支援について
3. 認知症・うつ病予防の補聴器購入費助成制度について
4. 生活保護の申請は国民の権利について

P.14 荒井眞理 (みらい佐渡)

1. 子どもが子どもらしく大切にされる佐渡にするために
2. 自然を大事にした街路樹などの役割と管理について
3. 女性労働者の差別雇用解消について
4. 原発回帰へのGX(グリーントランスフォーメーション)基本方針と佐渡の安全について

あみかけの項目は、本文に内容を掲載しています。
※本文は、質問した議員本人が要約して執筆したものです。

带状疱疹ワクチンの助成で市民の健康を守れ



子育て世帯、高齢者で带状疱疹が増加傾向です。今のうちに対策を講じては。



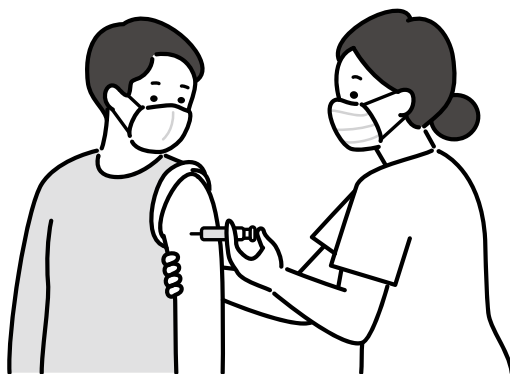
佐藤 定（無党派）

問 接種費用を独自に助成する自治体が相次いでいる。带状疱疹は、子供の頃に水ぼうそうに感染後、体の感覚神経に潜伏していた水痘带状疱疹ウイルスが加齢並びに過労や疲労、ストレス、基礎疾患などに伴い、免疫力が低下することで、再活性化し発症する病気で、働き盛りの50歳を過ぎた頃から、急増する病気である。带状疱疹は重症化すると視力低下や失明、難聴、顔面神経痛などになるおそれがあり、3か月以上続く痛みは、带状疱疹後神経痛と呼ばれて、带状疱疹を発症した人の約2割程度の人があるような後遺症が残ると言われている。水ぼうそうにかかったことがある全ての人々が発症のリスクを持っているため、80歳までに3人に1人が带状疱疹にかかると言われている。防止する带状疱疹ワクチンの接種は費用が高額でなかなか進まないのが現状である。接種費用の助成をしている自治体も増えてきて、実施済みの自治体は173自治体、東京都杉並区など117自治体は、今年度から始まる。県内では、南魚沼市が今年度から助成を始めた。佐渡市の考え方を問う。

市長 带状疱疹ワクチンの不活化ワクチンの発症予防

効果については、非常に高いと考えている。また、带状疱疹罹患後の生活の質の低下防止にも効果を認めている。

しかし、今国においてこのワクチン接種による発症予防効果の持続期間、また接種費用と医療費といった費用対効果などを検証している。現時点では、本当に効果が高いというところの証明ができれば、我々としても次のステップとして支援を考えていきたい。



こがね丸の冬季運航と汽船料金について質す



1隻体制は便数減、ジェット利用では高くなる。利用者負担増は許せない。



金田 淳一（新生クラブ）

問 こがね丸は冬季間の運航に耐えられるのか確認する。

観光振興部長 冬季の輸送人員、航送・貨物実績に鑑みて予備船としての位置づけと聞いている。

問 予備船とはどういう意味か。動かさないのであれば、私達からの支援に対する裏切り行為だ。

市長 社長からはいざという時に動かすとの話が以前あった。私はそれでは駄目だ、利便性が低すぎると返事をしている。基本的には冬も一定程度運航するのが原則と考えている。

問 燃料油価格変動調整金制度についての内容と国と事業者の関わりは。

観光振興部長 国に届出が必要であり、燃油の上昇分を輸送実績で割り金額を算出する。その分母となる輸送実績の数値は事業者^{かんが}に委ねられている。これまで令和3年分で計算していたが、令和4年は実績が1.3倍に回復しているので正を求め実現したものである。

問 過大に徴収されていたということなのか。

市長 輸送実績が逆に減少すれば、事業者^{かんが}に負担が及

ぶ場合もある制度である。そういう意味で県と相談し1年毎に見直すことで佐渡汽船に了解を取っている。乗客、車両航送共に20%くらい下がると思う。

問 島発2等往復割引について嬉しいニュースを聞くが、ときわ丸還元と関係があるのか、生活航路としての島発2等往復は復路5割引に戻すのが島民の願いだ。

観光振興部長 今回の割引は佐渡汽船の自主対応で運賃還元に関しては今後の議論である。

市長 島民の公共交通機関としての役割は絶対に必要だ。2等往復の割引については、乗客数や燃油調整金の問題を含め一定程度出てくると思う。

◆ 燃料油価格変動調整金の推移

	大人(片道)	自動車(片道)
令和2年7月～	390円	2,650円
令和2年10月～	130円	880円
令和3年1月～	220円	940円
令和3年7月～	440円	1,870円
令和3年10月～	650円	2,800円
令和4年7月～	950円	4,610円
令和4年10月～	1,210円	5,870円
令和5年4月～	1,010円	4,880円
令和5年7月～	930円	4,510円

集落支援員の配置と排出権を利用した森林整備



地域力を高め、森林整備を進め世界遺産登録に恥じない佐渡を創ろう



山本 卓 (政風会)

問 過去の議事録を見ると、地域活動支援員・集落支援員の必要性を認識しながら、制度が進まないのは何か原因があるのか。

地域振興部長 支所・行政サービスセンターを地域拠点として各地域で合意形成がなされて、要望があれば何時でも門戸を開けている。

問 過去に総務省に提出した事業報告書を見た。過疎・高齢化の進む地域に地域活動支援員(集落支援員)を配置し、持続可能なコミュニティの形成を推進するとある。支援員を配置しても経費は特別交付税で措置される。制度を活用して集落・地域力を高めに行く必要があると考えるが、説明を求める。

地域振興部長 集落支援員を地域に配置するためには、目的と活動内容を定めて運用する必要があり、佐渡では集落長が集落支援員を兼務していると認識している。

問 地域振興部長は、横並びではないが新潟県内の動向を見て、佐渡市も増やさなくて良いと考えているのか。

地域振興部長 佐渡市の制度として、集落から要望が

あって、受付・審査を行うため、意識して減らしていることはないと思う。

問 集落のネットワーク化を形成して、地域の様々な課題である人口減少・伝統芸能・他集落との連携・空き家の動向等を集落支援員が毎月チェックシートに記入して、地域活動支援員・地域おこし協力隊の3者で問題点を話し合い、集落力・地域力を高める改善を図る体制、システムの構築が必要と考えるが、市長の考えを問う。

市長 集落内の距離間も異なれば、集落と集落の距離間も違うため、一つの方向にはできないと思っている。地域支援員係を含めて、支所・行政サービスセンターで意見交換をして、進めて行くことが重要だと考えている。

問 二酸化炭素の排出権について、五泉市が葛飾区と協定を結び排出量を実質ゼロにする、森林整備の契約を締結した。佐渡市でも積極的に取り入れるべきと考えるがどうか。

農林水産部長 姉妹都市また企業からも話を頂いているので、情報共有しながら森林整備を進めるよう、働き掛けをしていきたい。

廃屋の撤去と佐渡植物園の整備状況を問う



随分きれいな佐渡を強調しているが大丈夫かなあ…



中川健二 (みらい佐渡)

問 世界遺産登録に向けてきれいな島が強調されているが、島内に何か所かある危険廃屋は、今後どのようにしていくのか尋ねる。

市長 佐渡市空家等対策計画において、世界遺産登録に向けた取組として、景観へ配慮した建築物の対応を推進している。しかしながら、空き家などの管理責任は基本的には所有者にあるわけで、その対策に市費を投入するという事は非常に難しい問題がある。一方で、空家対策法の中でも危険物に関しては様々な形で除去も取り組んでいるので、市として、国の支援制度を受けながら市民の安全、安心を守るための取組として、国の対象になるものについては除去していきたいと考えているところである。ただ、大きなホテル等については、やはり非常に大きなコストがかかる。そして、実際に今それを対応する国、県の支援政策はないに近い状況である。しかしながらまず安全を守ることが一番重要な点であるので国へ要望している。何らかの支援体制を国で作成してほしいということや要望し、北陸地方整備局にも現地を見ていただいたりしているところなので、情報共有を図りながら、

国、県と一緒に考えていきたいと思っている。

問 佐渡植物園は、佐渡固有の貴重な植物を紹介するための植物園となっているのか。また、植生台帳を基に手入れはされているのか。

教育長 佐渡固有の植物については、ハナショウブやコハマナス、サドオケラなどを紹介している。これらの管理については、佐渡学センターや地域の協力を得て手入れをしており、植生台帳に関しては、現在古い情報のままであり、今年に入り台帳を基に園内を確認した。今後は、園内整備を進める材料として、しっかりと台帳を活用していく。



佐渡植物園

予算不適正支出、 こがね丸予備船は支援違反



観光交流機構の監査の
指摘は当たり前のこと
ばかりなの？



中川直美（日本共産党市議団）

問 観光交流機構と文化財団は同時期に市が立ち上げたもので、観光交流機構の監査指摘は文化財団の補助金不適正事案と酷似している。予算支出や機構と市の関係を整理すべきである。

令和4年度決算は、市の委託費約1億7,000万円で1億1,290万円が再委託されているが、再委託、丸投げの数は？

観光振興部長 確認できていない。

問 負担金規程等もなく根拠もなく予算化するの、データラメすぎるのではないか。

財政部長 予算は根拠が必要である。

観光振興部長 根拠資料等をチェックし予算編成しなければならなかった。

問 負担金支出規程のあった運営費負担金額は規定額を超える予算を支出したのか。

観光振興部長 担当部署のチェックと、市と機構との協議が不足していた。

市長 調査チームで補助金、委託費の検証を行っており、議会にも報告する。結果に基づき機構の在り方については再検討する。

予備船？約束が違う

問 行政支援したこがね丸が「予備船」とは、どういうことか。

観光振興部長 冬場の新潟～両津間は、輸送人員、航送台数、貨物トン数から「予備船」の意向である。

問 両津航路は冬場1隻がドックに入ったときの代わりに運航する前提で行政支援を決めた。予算執行したのか。

観光振興部長 冬場の運航で行政支援を決めた。市は、予定どおり運航していただくよう要望している。

市長 行政支援の予算執行は止めている。



こがね丸

公営住宅・補聴器助成制度・ 生活保護制度



中村良夫（日本共産党市議団）

問 公営住宅の家賃減免制度の周知徹底について問う。

建設部長 入居者に対し、家賃決定時及び収入申告書提出依頼時の年2回、減免チラシを同封し、周知している。なお、次年度の家賃決定通知の際には、現在減免を受けている方で次年度の所得が減免対象となる可能性がある方には、減免申請書を同封し周知している。また、収入申告書提出時や滞納に関する対応などで問い合わせがあった場合にも、本制度を積極的に紹介している。

問 市民から「身寄りのない高齢者など、公営住宅に入居したくても連帯保証人が見つけれない」と、切実な声を聞いている。国土交通省は保証人の確保を前提とすべきではないと佐渡市に通知を出していることについて問う。

市長 県営住宅と同様の取扱いに変更し、1名の保証人を求めている。

問 補聴器助成制度は非常に評判が良い。継続事業としての対応を求める。

市長 市民の皆さんから非常に喜ばれており、元気な

生活を送るために必要な支援事業である。現状このまま進めて行く考えである。

問 生活保護制度が認定されると、医療費・国民健康保険料・介護保険料の負担はなくなり、税金など公的負担の支払いは免除されることについて問う。

社会福祉部長 生活保護の受給と併せて申請することによって減免ができる生活保護制度である。

問 生活保護制度の周知徹底と市役所窓口对生活保護制度の申請書を置くことについて問う。

社会福祉部長 さらに周知を強化していく。申請書は、本庁の社会福祉課に設置してある。



子どもも若者も自由に語り合うまちづくりへ



子どもの権利、子どもの最善の利益を守りましょう！



荒井真理 (みらい佐渡)

問 こども家庭庁がスタートしたが、これまでの政策の延長のようで代わり映えないアイデアばかりだ。特に出産を控えた女性にとって、また子育て世帯にとっては、待たされている状況という空気感だ。国の政策を待っているわけにはいかないのでは。

市長 北欧のケースや、子どもが多い国を見ても様々な子育ての形がある。それらをもっと考えていかなければ本質的に子どもの数を増やすのは難しいと考える。

問 子どもを支援の対象として見がちだが、主人公、人生の主体であるという見方が足りない。佐渡市子どもが元気な佐渡が島条例に子どもの人権を尊重する取組が謳われているが職員研修が必要ではないか。

社会福祉部長 一番基となるのは子どもの権利条約の部分だと思う。内部で協議する。

問 佐渡市は佐渡人権展を巡回させ、全国でも人権の先進地と言える。子どもコーナーには子どもの権利条約を含め、担当者をつけ、来場者に説明するようにすべきでは。

社会福祉部長 意見を参考として協議する。

問 燕市につばめ若者会議があり、職員も関わりながら10年以上まちづくりを子どもと若者が自由に語り合い、活動を続けている。佐渡でも取り組んでみてはどうか。

市長 それに近い形の取組みがある。色々な情報を連携させると面白い結果ができるかもしれない。研究し、議論していく。

問 女性労働者の低賃金、不安定雇用の解消が国の女性版骨太方針にある。主たる家計維持者の不安を調査、把握してはどうか。

総務部長 業務に必要なく、プライベートなことなので、慎重にならざるを得ない。

問 G7広島サミットでグリーントランスフォーメーションは日本独自の脱炭素で原発回帰の方針と、理解されなかったがどうか。

市長 資源のない国として残念だが、原子力も取り入れているのが現状だ。

問 日本は省エネとエコ発電に挑戦していないと指摘する研究があるがどうか。

市長 柏崎刈羽原発は地元市町村でしっかり議論し本当に安全性を担保できるか、また議員指摘の点を明らかにし判断すべきと考える。



入間市との姉妹都市議会交流会



入間市役所

2日目は徹底した自動化でサーボモーター等を生産している安川電機で視察を行いました。



安川電機

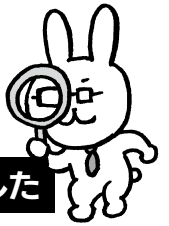
行

政 視 察 報 告

産業建設常任委員会

5月24日
～26日

岡山県を視察しました



真庭市

森林資源の利活用とバイオマス事業について

真庭市は平成17年に9町村が合併した証として庁舎前の門にそれぞれの木材を使用した。市役所庁舎、中央図書館は壁や備品に地元木材を加工し利用している。

地元の若手経営者や各方面リーダーたちが中心となって、「21世紀の真庭塾」という組織があり、そこに行政・産・学連携の仕組が「協働」の形で参画し、循環型地域社会の構築に向けた体制が整備されてきた。

真庭市役所本庁には、チップボイラーやペレットボイラーを設置した「エネルギー棟」があり、石油等の化石燃料を一切使用せずに、真庭産のチップ・ペレットを利用することで、4階建ての庁舎内の空調の熱源を確保している。



佐渡市も森林・生ごみ・液化肥料等の活用を行政・産・学で話し合うとよいと感じました。



津山市

重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存について

保存の取組みと活用の取組みを連携して行うべきであると感じました。



津山城の東側に江戸時代の町屋を主体とした城東地区、西側に明治・大正時代の建築様式が残っている城西地区があり、保存地区内の舗装は色を区別してあり分かりやすかった。佐渡市でも同様に町並み保存に取り組んでいる小木の町並みにも参考になると感じた。

重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことで、古民家に住みたい人や起業したい人等の移住が増えている。

保存地区では、火災になった時に指定建造物以外の家屋は消火、建て替えに苦勞していると説明があった。佐渡市においても保険、消火施設等について検討する必要性を感じた。

みまさかし
美作市

NPO法人英田上山棚田団

あいだうえやま

■美作市上山地区の棚田の再生と地域活性化について

当該団体は「楽しいことは正しいこと」を理念に発足した。月曜から金曜まで会社で働き、週末は棚田再生のために草刈、水路掃除、その他の田んぼ仕事をしている。

移住者と地域住民が良く相談して地域役員等を決めているとのことで、新規事業、ブランド品作り等の活動も大きく動き、支援を申し出る個人、企業も出てきている。

多様な主体が得意な分野を生きしながら、農的な暮らしをしているところが印象的で、佐渡市でもこのようなコミュニティ形成が必要だと感じました。



議会広報を より市民にみじかに… これからの広報について語る

広報アンケート、議会だよりモニター、広報づくり から…

議会広報特別委員が

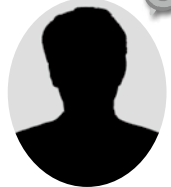


まだまだ不足 市民感覚の紙面づくり

モニターの皆さんから寄せられた感想では、常任委員会の審査内容をお知らせする際、行政で当たり前に使われている用語や、専門用語が多くなりがちとの指摘に、改めて市民と議会をつなぐ役割の広報誌の用語の使い方を反省しています。

「手に取ってもらうこと」「興味を持ってもらうこと」を第1歩に表紙紙面の変更にチャレンジなどしましたが、内容が追いついていません。もっとわかりやすくを第一に更にチャレンジします。

また、議会資料の電子化も始まり広報の在り方や伝え方も研鑽が必要で、「誰に」「何を」「どうやって」を基本に多様な情報伝達手段と「市民意見を反映」した広報活動が市民参加の地方自治の手助けとなるようにしたい。（佐藤 定）



読みやすさが 大切!

多岐にわたる議会活動の具体的内容は、市民の方に知っていただいて初めてご理解を得られるものであるため、議会の広報戦略は非常に重要です。

議会だよりについては、政治に興味がある方には熟読していただけるかもしれませんが、そうでない方にとっては特に時間を割いて読むには至らないものであると思います。よって、分かりやすく簡潔な文章を心掛けるとともに、図表や写真などを多く取り入れ、視覚に訴える表現への改善が必要であると思います。

そして、デジタル化への移行、SNSやYouTubeなどを積極的に活用し、画像や動画を見てご理解を深めていただく努力が求められております。

また、佐渡の未来を背負って立つ小中高生にも議会活動を知っていただきたいですし、議会基本条例が制定された後には、議会報告会が開催されることになると思いますので、多世代の市民の方との有意義な意見交換を行い、議会広報の改善にもつなげて行けたらと思います。（室岡 啓史）

議会だよりの 感想から、改善!



「市民の代表として一般質問をされていると思いますが、市民の声をどのようにして収集しているのでしょうか。活動が見えません。」「ワーキングプアの一市民の声は届いていないのが現実…と思う。」(NO.74モニター声)

「議会が何をしているかもっと身近になるよう伝えてほしい。特に議員の仕事を具体的に知りたい。」(NO.76モニター声)

特に気になったのは、上のコメントでした。私個人としては反省しかありません。

また、「議員個人は空砲、議会としてまとまれば大砲」という言葉があります。議員が個人のパフォーマンスに走るのではなく、議会が組織として市民と関わり情報を収集し、意見交換を行なっていく必要があります。これからの議会改革のポイントとしては、以下のものが考えられます。

- ①市民との意見交換会の実施
 - ②常任委員会と市内関係団体との意見交換会の実施
 - ③通年議会への制度改革(3、6、9、12月の定例会から、会期を丸一年間とする)
- (後藤 勇典)



子ども議会だより を1ページ?

今期は手に取ってもらえる表紙の作成に各委員がチャレンジした。それぞれの個性が活かされ普段は読まない方にも見てもらえたと感じる。

今後は、子どもでも分かりやすいように定例会の概要を簡単な言葉でまとめた「子ども議会だより」を1ページ位作成したい。

今後もより多くの市民の方に議会の内容を伝えられるようモニターの結果を参考に情報発信に努めたい。（平田和太龍）

アンケートで 議会だより改革

議会広報特別委員長と全委員で審議して改革に取り組みました。

アンケート結果を参考に改革に取り組みたいです。

(山本 健二)



「常任委員会はココに注目！」 に注目！

年に4回発行される議会だより。一般質問は一番ページ数が多く、テレビやインターネットで配信されていますので、目にする機会が多いですが、議会中、全議員が一番時間をかけているのは常任委員会です。総務文教、市民厚生、産業建設の3つに分かれている常任委員会では、佐渡市の様々な方向性や計画、年約700億円をかけている全ての事業が話し合われており、私たち議員だけではなく、市民の皆さんにとってもとても大事な会議です。

しかし、ページ数が少ないため、お伝えしたい事を伝えきれない、かつ、専門用語を使うことや、過去からの様々な流れがあって事業が作られる事もありますので、わかりづらい内容になっている場合もあります。少しでもわかりやすく、多くの方に興味を持っていただけるような「常任委員会はココに注目！」になるように進めていきたいと思っています。

(広瀬 大海)

紙、はさみ、のりの編集から デジタル化へ

従来の議会だよりの編集は、原稿の紙をはさみで切り、のりで貼りつけたりの作業でした。最近はパソコンで編集を行い、ちょっとしたイラスト等も作成できるようになり活用しています。動画配信も初めての挑戦で、YouTube、Facebookの動画編集も悪戦苦闘の連続でした。どちらも、少しでも市民の皆さんに関心を持っていただけるようにと工夫しています。「読みやすくなった」等のご意見をいただくと嬉しく、今後もより多くの方に議会の情報を届けるよう努力したいと思います。

(事務局K)



読んでもらえる 議会広報は？

▶議会だよりの様々な表紙の取組は「そもそも読んでもらえない、手に取ってもらえなければ意味がない」からスタートしたもの。

▶No.75の週刊誌の中吊り広告風の表紙は、マスコミ等で取り上げられ、取材記者は「洗練されていない手作りっぽいデザイン、議会らしくないのがいい」とも語っていたり、概ね好評価。その反面、市民からは「議会らしくない(怒)！」等の厳しい声もあったが、「議会らしさ」とは何かを考えさせられた。(;-;)

▶議会活動を知ってもらうには紙の議会だけでなく、SNSや動画など様々な情報発信が組み合わせさせてこそ伝わるもので、まだまだ議会広報の挑戦は続く。

▶「一般質問は議員の発表会。それよりも、出された議案を議会はどう議論したかが重要」の指摘が重い。(中川 直美)



THE FIRST TAKE

動画の一発撮りで 議員の素の姿を

議会広報のアンケートやモニターで、「議会や議員の考え方をもっと知りたい」との意見をいただきました。市民の皆さんにどうしたら伝わるかを広報委員と考え、動画企画「THE FIRST TAKE」が誕生しました。日ごろ厳しい表情の議員から見えない「素の表情が見えてとても良い」との好評をいただいています。撮影側として「どうしたら素の議員が見れるか」を意識しての新しい質問項目を考えるのはとても難しいですが、また楽しくもあります。これからも皆さんに興味を持っていただける楽しい情報発信ができればと考えています。

(事務局M)



近藤和義議長が 全国離島振興市町村 議会議長会会長に 就任

7/14



就任挨拶

全国離島振興市町村議会議長会は、離島振興の更なる充実強化、離島に必要な不可欠である離島航路・航空路の維持・存続のために必要な支援法の早期制定などに向けて、政府・政党に対して活動する全国組織です。

二元代表制と 市議会の役割

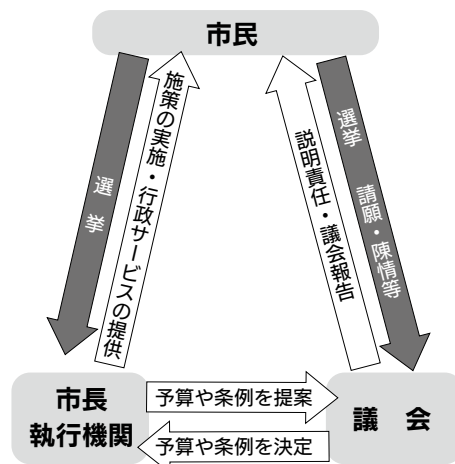
市議会は、市民に代わってその声を市政に反映し、市の意思決定を行う機関です。（「議決機関」、「議事機関」といいます）

市長と議員は、ともに市民から直接選挙で選ばれた代表者です。それぞれが市民の代表という意味から「二元代表制」といいます。

二元代表制において、市長と議会はお互いに対等の立場に立ち、緊張関係を保ちながら議論を重ね市の発展のために取り組みます。

議会は、予算や条例、自治体の運営方針などを決定（議決）して、その執行をチェックしています。また積極的な政策提言・立案の機能を果たしています。

二元代表制と行政（市）の仕組み



議会動画配信へGO!

～自前、手作りで頑張っています～

議会広報の一環として、本会議や一般質問などの動画をインターネットで配信しています。

また、リハーサルなしの「一発撮り」として、議員の一般質問前の意気込みや質問終了後の感想、各常任委員会の状況を報告する委員長からの一言、そして特別編も配信しています。

本会議中継が見れなくても、この動画配信でいつでも見る事が可能です。（録画DVDは中央図書館で貸し出しています。）

作成は、タブレットとパソコンを使い自前で行っていることから、出来栄はイマイチかも知れませんが、議会広報特別委員会は、一早く皆さんに公開することを重要とし努力しています。😊

こ
ち
ら
は
、
議
会
事
務
局
で
す。



令和5年

全国市議会議長会及び 北信越市議会議長会 表彰

在職
25年以上

近藤 和義

金井町議会議員 12年

佐渡市議会議員 19年

※町議会議員在職年数は、
2分の1を市議会議員の在職年数に通算

6月17日 佐渡市世界遺産登録推進議員連盟

ボランティアに参加

笹川
地区



手に取ってもらえる 議会だよりの表紙は？

制作者の一言

議会資料の電子データ活用が昨年9月定例会から始まり、令和5年2月定例会から議員へのタブレット配布と、着実に議会でも電子化が進んでいます。紙の時代から電子データと戸惑いや操作に悪戦苦闘が続きます。電子データ活用により紙の削減だけでなく資料説明や議会運営など有効活用が期待されます。議員全員で電子化に向かって頑張っています。



請願・陳情について

原則的には定例会において対応するものとして
います。議会招集日の概ね8日前までに受理
したものについて、議長の意見を付した上で、議
会運営委員会に諮って決定します。

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

議会広報へのご意見

佐渡市議会ホームページに「議会広報に関するご
意見」のコーナーを設置しています。

市民に親しまれる「議会だより」や議会広報の参考に
させていただきます。

お気軽にご意見をお寄せください。



第1委員会室

議会傍聴等が コロナ禍前に 戻りました!

議会傍聴

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、議会傍聴を通常の形に戻しました。

【傍聴者の人数制限】

- 本会議場 9人→**26人**
- 委員会室 3人→**10人**



手に取ってもらえる 議会だよりの表紙は?

どの表紙が良かったか、今後の参考にしたいと思しますので、投票のご協力をお願いします。議会事務局前の投票箱か、議会ホームページで投票してください。(期限9月30日)



エントリーNo.1 (73号) エントリーNo.2 (74号) エントリーNo.3 (75号) エントリーNo.4 (76号)

6/19日経グローバル、6/30日経新聞に 議会広報の取組が 掲載されました



6月定例会の 動画



6月定例会予告



6月定例会初日



一般質問前の一言①



一般質問前の一言②



突撃インタビュー(副議長)



6月定例会最終日



一般質問の動画はP11~14のQRコードからご覧ください。



佐渡市議会

猛暑が続く毎日ですが、
お体を大切にお過ごしください。

佐渡市 議会だより 第77号 2023年(令和5年) 8月10日発行 発行:佐渡市議会 責任者:近藤和義 編集:議会広報特別委員会 〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394 ☎0259-57-8133 HP:https://www.city.sado.niigata.jp/c_council